



TAIYO NIPPON SAN SO
The Gas Professionals

2019年3月期 第1四半期 決算補足資料

大陽日酸株式会社
2018年7月30日

1. 2019年3月期 第1四半期業績

- 1) 業績概要
- 2) セグメント別業績

2. 2019年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想
- 2) セグメント別通期業績予想

3. 参考資料

- 1) 非経常収益・費用明細
- 2) 重要経営指標（連結）
- 3) 業種別売上割合
- 4) 大陽日酸のガス供給体制

1-1. 業績概要

単位：億円	18/3月期 1Q実績 利益率	19/3月期 1Q実績 利益率	前年 同期比 増減率	19/3月期 通期予想 (5/9発表) 利益率
売上収益	1,508	1,586	+78 +5.2%	6,700
コア営業利益	140 9.3%	139 8.8%	-1 -0.7%	640 9.6%
非経常損益	2	8	+6	5
営業利益	143 9.5%	147 9.3%	+4 +3.1%	645 9.6%
金融損益	-7	-5	+2	-45
税引前四半期利益	136	142	+6	600
法人所得税	-57	-40	-17	180
四半期利益	78	101	+23	420
(四半期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する四半期利益	76 5.0%	96 6.1%	+20 +27.2%	400 6.0%
非支配持分に帰属する四半期利益	2	4	+2	20

● 為替換算の影響（USD→円）：前期1Qレート 111.42円 当期1Qレート 109.53円
→影響額 売上収益▲7億円、コア営業利益▲0億円

1-1. 業績概要

【売上収益】

単位：億円	18/3期 1Q実績	19/3期 1Q実績	増減率	19/3期 通期予想 (5/9発表)
国内ガス事業*	786	826	+5.1%	3,600
米国ガス事業	417	445	+6.5%	1,750
アジア・オセアニアガス事業	238	251	+5.3%	1,070
サーモス事業*	65	63	-3.2%	280
合計	1,508	1,586	+5.2%	6,700

【営業利益】

単位：億円	18/3期 1Q実績	19/3期 1Q実績	増減率	19/3期 通期予想 (5/9発表)
国内ガス事業*	74	61	-17.7%	318
米国ガス事業	31	31	-0.2%	140
アジア・オセアニアガス事業	20	33	+64.1%	107
サーモス事業*	20	17	-15.9%	93
消去又は全社	-6	-3	-	-18
コア営業利益 計	140	139	-0.7%	640
非経常損益	2	8	-	5
営業利益 計	143	147	+3.1%	645

*2019年3月期より「サーモス他事業」セグメントに計上されていたサーモス事業以外の他事業を「国内ガス事業」セグメントへ移管しております。

また、比較基準を揃えるために当該移管分を組み換えて表示しております。

1-2. セグメント別業績：国内ガス事業

単位：億円			18/3月期 1Q	19/3月期 1Q	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	193	197	+1.8%
		オンサイト	120	168	+40.3%
		パッケージガス	27	27	-1.1%
		ハードグッズ	58	57	-1.9%
		機器・プラント	89	81	-9.5%
		メディカル	53	53	+0.8%
		産業ガス 計	544	586	+7.8%
	エレクトロニクス	ガス	118	115	-3.2%
		機器・工事	52	52	-1.2%
		エレクトロニクス 計	171	167	-2.6%
	エネルギー	LPガス	64	66	+3.9%
		関連機器	6	6	-6.3%
		エネルギー 計	70	72	+2.9%
売上収益 合計		786	826	+5.1%	
セグメント利益			74	61	-17.7%

売上収益増減要因

- ・ オンサイト：JFEサンソセンター倉敷工場の収益が貢献
- ・ エレクトロニクスガス：一部製品分野向けの出荷が軟調
- ・ LPガス：輸入価格上昇の影響で販売価格が上昇

セグメント利益増減要因

- ・ 原油価格上昇によるコスト増加
- ・ 炭酸ガスの原料ガス不足等によるコスト増加
- ・ エレクトロニクス工事：前期高収益案件計上による反動減

1-2. セグメント別業績：米国ガス事業

単位：億円			18/3月期 1Q	19/3月期 1Q	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	171	187	+9.4%
		オンサイト	27	23	-13.5%
		パッケージガス	114	115	+0.6%
		ハードグッズ	76	87	+14.5%
		産業ガス 計	389	413	+6.2%
	エレクトロニクス	ガス	19	16	-16.7%
		機器・工事	8	15	+73.9%
エレクトロニクス 計		28	31	+10.7%	
売上収益 合計			417	445	+6.5%
セグメント利益			31	31	-0.2%

※為替換算による影響

売上収益▲7億円 セグメント利益▲0億円

売上収益増減要因

- ・バルク：セパレートガス、炭酸ガスの出荷増
- ・ハードグッズ：エネルギー産業向けの販売好調
- ・エレクトロニクス機器：半導体関連機器の販売が増加

セグメント利益増減要因

- ・バルク、ハードグッズでの増収による増益
- ・エレクトロニクス関連での利益はほぼ横ばい
(ガス：減益、機器・工事：増益)

1-2. セグメント別業績：アジア・オセアニアガス事業

単位：億円			18/3月期 1Q	19/3月期 1Q	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	80	102	+26.8%
		オンサイト	6	7	+4.3%
		パッケージガス	13	13	+2.1%
		ハードグッズ	12	11	-7.9%
		機器・プラント	29	36	+25.8%
		産業ガス 計	142	171	+20.2%
	エレクトロニクス	ガス	75	68	-8.3%
		機器・工事	20	10	-47.5%
		エレクトロニクス 計	95	79	-16.9%
	売上収益 合計			238	251
セグメント利益			20	33	+64.1%

※為替換算による影響

売上収益 ▲0億円 セグメント利益▲0億円

売上収益増減要因

- ◆産業ガス関連
 - ・ 中国で産業ガスの増収、Leeden NOXで収益回復
 - ・ 豪州でLPガス及び関連機器の販売が好調
- ◆エレクトロニクス関連
 - ・ 台湾で機器・工事が減収

セグメント利益増減要因

- ◆産業ガス関連
 - ・ 中国産業ガス、Leeden NOXで増益
 - ・ 豪州での増収による増益
- ◆エレクトロニクス関連
 - ・ ガス、機器・工事での利益はほぼ横ばい

1-2. セグメント別業績：サーモス事業

単位：億円		18/3月期 1Q	19/3月期 1Q	増減率
売上収益	国内	58	53	-7.4%
	アジア	7	9	+30.0%
	売上収益 合計	65	63	-3.2%
セグメント利益		20	17	-15.9%

※為替換算による影響

売上収益+0億円 セグメント利益+0億円

売上収益増減要因

- ・国内：主力のケータイマグの販売が軟調
- ・海外：韓国での販売は堅調

セグメント利益増減要因

- ・国内：販売数量の減少による減益
- ・海外：持分法適用会社の業績は軟調

2 - 1. 2019年3月期 通期業績予想

単位：億円	18/3月期 通期実績 利益率	19/3月期 通期予想 利益率	前期比 増減率
売上収益	6,462	6,700	+238 +3.7%
コア営業利益	600 9.3%	640 9.6%	+40 +6.6%
非経常損益	-1	5	+6
営業利益	598 9.3%	645 9.6%	+47 +7.7%
金融損益	-39	-45	-6
税引前利益	558	600	+42
法人所得税	51	180	+129
当期利益	507	420	-87
(当期利益の帰属)			
親会社の所有者に帰属する当期利益	489 7.6%	400 6.0%	-89 -18.2%
非支配持分に帰属する当期利益	18	20	+2

● 想定為替レート (USD→円) : 105円 ※2018年3月期 通期レート 110.70円

● 2018年3月期では、米国子会社で繰延税金負債の取崩しが発生し、法人所得税が122億円減少



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2-2. 2019年3月期 セグメント別通期業績予想

【売上収益】

単位：億円	18/3期 通期実績	19/3期 通期予想	増減率
国内ガス事業*	3,450	3,600	+4.3%
米国ガス事業	1,726	1,750	+1.4%
アジア・オセアニアガス事業	1,031	1,070	+3.7%
サーモス事業*	253	280	+10.4%
合計	6,462	6,700	+3.7%

【営業利益】

単位：億円	18/3期 通期実績	19/3期 通期予想	増減率
国内ガス事業*	313	318	+1.3%
米国ガス事業	135	140	+3.3%
アジア・オセアニアガス事業	92	107	+15.9%
サーモス事業*	77	93	+20.0%
消去又は全社	-18	-18	-
コア営業利益 計	600	640	+6.6%
非経常損益	-1	5	-
営業利益 計	598	645	+7.7%

*2019年3月期より「サーモス他事業」セグメントに計上されていたサーモス事業以外の他事業を「国内ガス事業」セグメントへ移管しております。
また、比較基準を揃えるために当該移管分を組み換えて表示しております。

(参考資料)

非経常収益・費用明細

単位：億円	18/3月期 1Q	19/3月期 1Q	前年 同期比
コア営業利益	140	139	-1
非経常損益	2	8	+6
営業利益	143	147	+4

【非経常収益・費用明細】

18/3月期 1Q実績		19/3月期 1Q実績	
明細	金額	明細	金額
国内土地売却益	+2億円	国内土地売却益	+9億円
		その他	-1億円
合計	2億円	合計	8億円



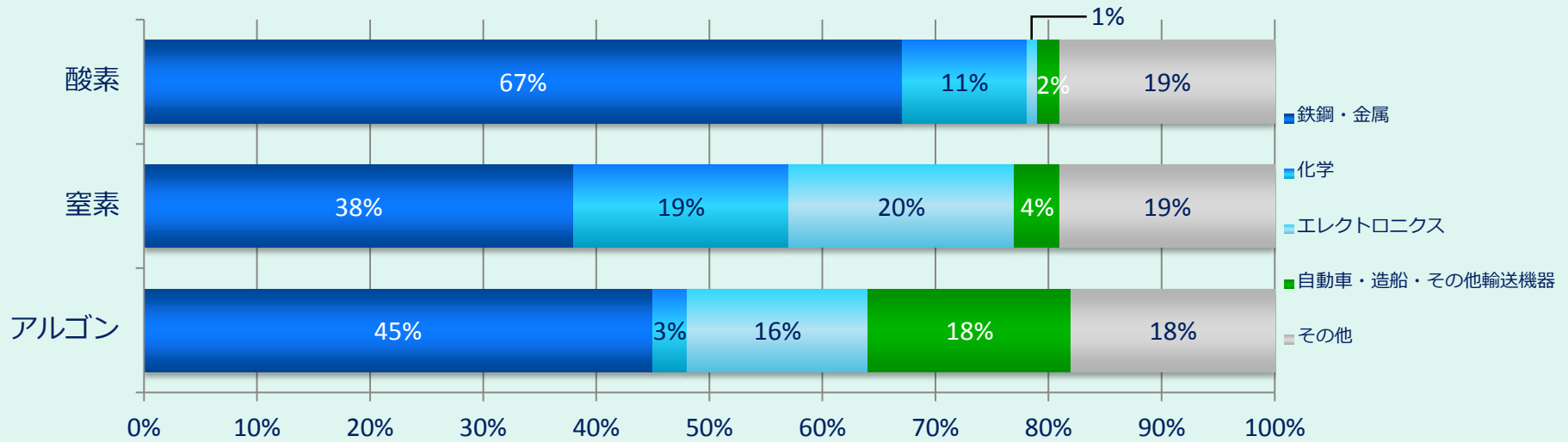
重要経営指標（連結）

	18/3月期 1Q実績	19/3月期 1Q実績	18/3月期 通期実績	19/3月期 通期予想
基本的1株当たり当期利益	17.59円	22.38円	113.04円	92.43円
海外売上収益比率	44.0%	44.5%	43.3%	-
ROE	-	-	13.3%	9.6%
ROCE	-	-	8.4%	8.5%
一株当たり年間配当金	-	-	23円	24円
配当性向	-	-	20.3%	26.0%
設備投資（工事ベース）	132.96 億円	177.81 億円	625.69 億円	790.00 億円
投融资	26.32 億円	6.03 億円	45.56 億円	-
減価償却費	108.10 億円	112.41 億円	432.66 億円	470.00 億円
有利子負債残高	3,531.90 億円	3,375.62 億円	3,269.59 億円	3,390.00 億円
純有利子負債残高	3,065.87 億円	2,861.20 億円	2,749.68 億円	2,890.00 億円

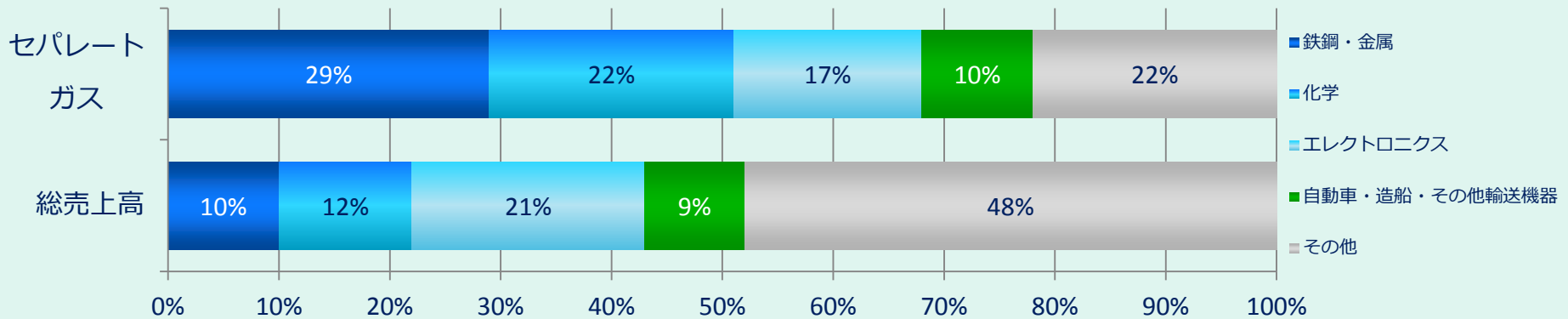
- 2018年3月期 通期では、米国での税制改革法における連邦法人税率の引下げにより、法人所得税が大幅に減少する影響を除いた場合、「1株当たりの当期純利益 84.87円」「ROE 10.1%」「ROCE 8.5%」「配当性向 27.1%」となります。

業種別売上割合

【業種別売上数量割合】



【業種別売上収益割合】



大陽日酸のガス供給体制

セパレートガス



空気分離装置(ASU)

酸素 窒素 アルゴン



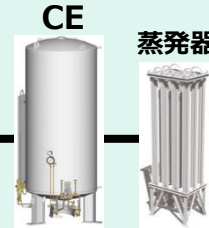
パイプラインで供給
(オンサイト)

酸素 窒素 アルゴン



液化ガスローリー
(バルク)

酸素 窒素 アルゴン



CE

蒸発器

充填所

パッケージガス

パッケージガス デュワー瓶(液体)

シリンダーによる供給
(パッケージガス)



酸素 窒素 アルゴン

タンクローリー、シリンダーによる供給
(バルク、パッケージガス)



炭酸ガス 水素 ヘリウム
L P ガス 特殊ガス アセチレン

お客さま

- ・鉄鋼・非鉄金属
- ・エレクトロニクス
- ・石油・化学
- ・自動車・機械
- ・ガラス・製紙
- ・医療
- ・食品
- ・その他

その他のガス



化学工場のオフガス 海外からコンテナ等で輸入

炭酸ガス 水素 ヘリウム
L P ガス 特殊ガス アセチレン

注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績はさまざまナリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限りません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございませうことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されませうことはお控え下さいませうよう、お願い致しませう。

